

## 在来線の土木構造物等の耐震化の進捗について

当社では、在来線の地震対策として、地震情報早期伝達システムの導入、改良を行うとともに、構造物の強化として、高架橋柱・橋脚の耐震補強、落橋防止工の設置、駅舎等の耐震化、名古屋工場の耐震化などの施策を着実に進めてきましたが、このたび、以下について完了しましたのでお知らせします。

### 1. 高架橋柱の耐震補強

- ・「ピーク時1時間あたり片道列車本数が10本以上の高密度線区」(名古屋地区)は、本年5月末までに完了しました。
- ・「東海地震において強く長い地震動を受けると想定される区間」の新幹線併設駅(静岡駅、浜松駅)は、平成25年度末までに完了しました。

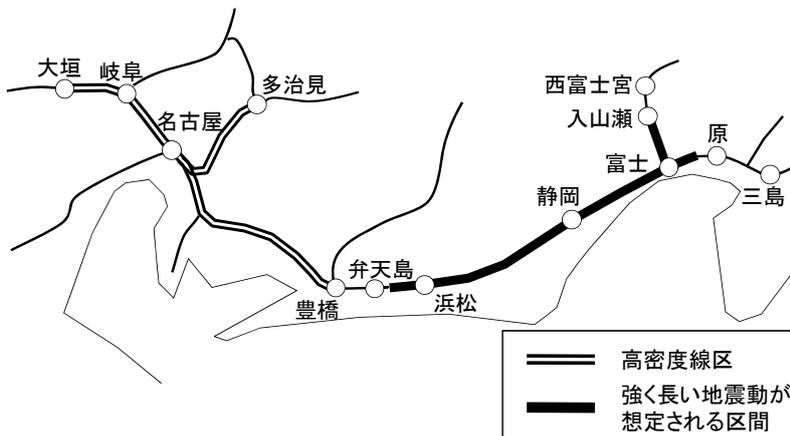
区間	高密度線区 (片道10本 /h以上)	強く長い地震動が 想定される区間			合計
		新幹線 併設駅	新幹線併設駅以外		
			省令対象	省令対象外	
対象数	約1,535本 (すべて完了)	約610本 (すべて完了)	約2,400本* (約1,120本完了)	約530本* (約210本完了)	約5,075本 (約3,475本完了)

■ : 完了

□ : 省令対象(片道1万人/日以上 他)

※ 平成29年度末までに完了する予定です。

耐震化対象区間



耐震化イメージ



【鋼板巻工法】  
(中央本線 鶴舞駅～千種駅間)

## 2. 駅舎の耐震化

- ・省令の耐震基準（1日1万人以上）の対象44駅のうち、橋上化を施工中の3駅を除き、41駅を平成25年度末までに完了しました。

（耐震性能を有する駅／対象駅数）      : 完了

		お客さまの1日のご利用人数		合計
		1万人以上	5千人以上 1万人未満	
耐震化 進捗状況	橋上化の計画が ない駅 <sup>※1</sup>	41／41 駅	23／28 駅 <sup>※2</sup> (吉原、鷺津、清洲、 松田、恵那)	64／69 駅
	橋上化が 施工・計画 されている駅	0／3 駅 <sup>※2</sup> (草薙、袋井、春日井)	0／4 駅 <sup>※3</sup> (新所原、天竜川、 裾野、蟹江)	0／7 駅
合計		41／44 駅	23／32 駅	64／76 駅

□□□ : 省令対象（1万人／日以上）

※1 建築時より耐震性能を有している駅、橋上化が完了した駅を含む。

※2 平成29年度末までに完了する予定です。

※3 完了時期は未定です。

### 耐震化イメージ



#### 【鉄骨ブレース補強】

（中央本線 土岐市駅）